

イチゴ品種「ふくはる香」の育苗期における 子苗発生、発根性、花芽分化等の特性

福島県農業試験場野菜部

平成15年度福島県農業試験場試験成績概要

1 部門名

野菜－イチゴ－育苗、生理・生態
分類コード 03－07－06040000

2 担当者

大越 聡・雨宮潤子

3 要旨

福島県オリジナル品種であるイチゴ「ふくはる香」の育苗期における子苗発生数、発根性及び花芽分化時期を調査し、親株必要数、仮植の難易及び定植適期を明らかにした。

- (1) 親株を4月上旬に定植し、芽数を1芽に管理した場合、7月中旬における「ふくはる香」の子苗(1～4葉の苗)発生数は親株あたり28.8株で、「女峰」の75%、「とちおとめ」の127%であった。この結果から、仮植を7月中旬に行う場合、10a分(8,000株)の苗を得るために必要な親株数は278株と推定された。
- (2) 「ふくはる香」の発根性は「とちおとめ」並で、「女峰」より劣った。この結果から、「ふくはる香」は仮植後の活着にやや時間がかかることが予想される。
- (3) ポット育苗における「ふくはる香」の花芽分化期は9月10日頃で、「女峰」及び「とちおとめ」並であった。この結果から、「ふくはる香」の定植適期は9月中旬と判断された。

4 その他の資料等

なし